

## 外国語（英語）

小学校第6学年

OS・ソフト等

・Windows タブレット

・SKYMENU Cloud

<単元・題材名等>

Unit3「Let's go to Italy」

ねらい

連休に友達と旅行に行きたいALTに対して、自身の体験をもとにしながら、お勧めの観光地を紹介することができる。

### 主なICTの活用方法

- ・協働学習支援ツール（Sky Menu）を用いて、録画した紹介ビデオを見童同士で見合うことにより、聞き手にとって魅力的な紹介になっているかを互いにアドバイスする。
- ・互いの表現内容や表現方法を参考にし合って、自身の表現に生かす。
- ・ALTに実際に紹介を聞いてもらうために、授業の終わりに紹介ビデオを提出する。

### ICTを通じて育成する資質・能力

- ・自分が話す英語を実際に聞くことにより、自身の発話について理解を深めて改善点を見出すことができる。
- ・撮影した動画を共有フォルダに保存し、互いに見合うことで、体験や感想を付け加えた表現のよさや、相手意識をもった伝え方（姿勢）を参考にし、自身に取り入れながら表現することができる。）

### 実践の概要

連休に友達と旅行に行きたいと思っているALTに対して、自身の体験をもとにしながら、お勧めの観光地を紹介する活動を行った。児童一人一人がALTに対して意見を伝えられるように、撮影した動画を提出するようにした。その際に、互いに動画を見合ったり、ALTの立場で紹介動画を見たりすることで、よりよい紹介ビデオ作りに取り組めるようにした。

### 児童の学びの様子

- 「動画を撮影して、ALTに提出する」という明確なゴールが設定されたことで、目的意識をもって取り組む児童の主体的な姿が生まれた。
- 支援ツールを活用して、撮影した動画を共有したことで、自分が紹介したい場所が類似している仲間の動画見て参考にすることができた。
- 教師が模範となる児童の動画を意図的に共有したことで、表現内容に加えて、相手意識をもって伝えようとする児童の姿勢も共有できた。



### 指導のポイント

- 録画機能を使用する前に、まずは伝えようとする内容についてペアで練習し合うなど、やり取りを行う時間を位置付けることで、より目的意識をもった動画撮影を行うことができる。
- 動画を共有して互いに見合う場面では、①自分の体験や感想を述べるための表現、②相手意識をもって伝えようとしている姿勢など、目的のある交流になるように指導することが重要。